



〈凡例〉

新築・新設部	
テラス	
SEIAN WALK	

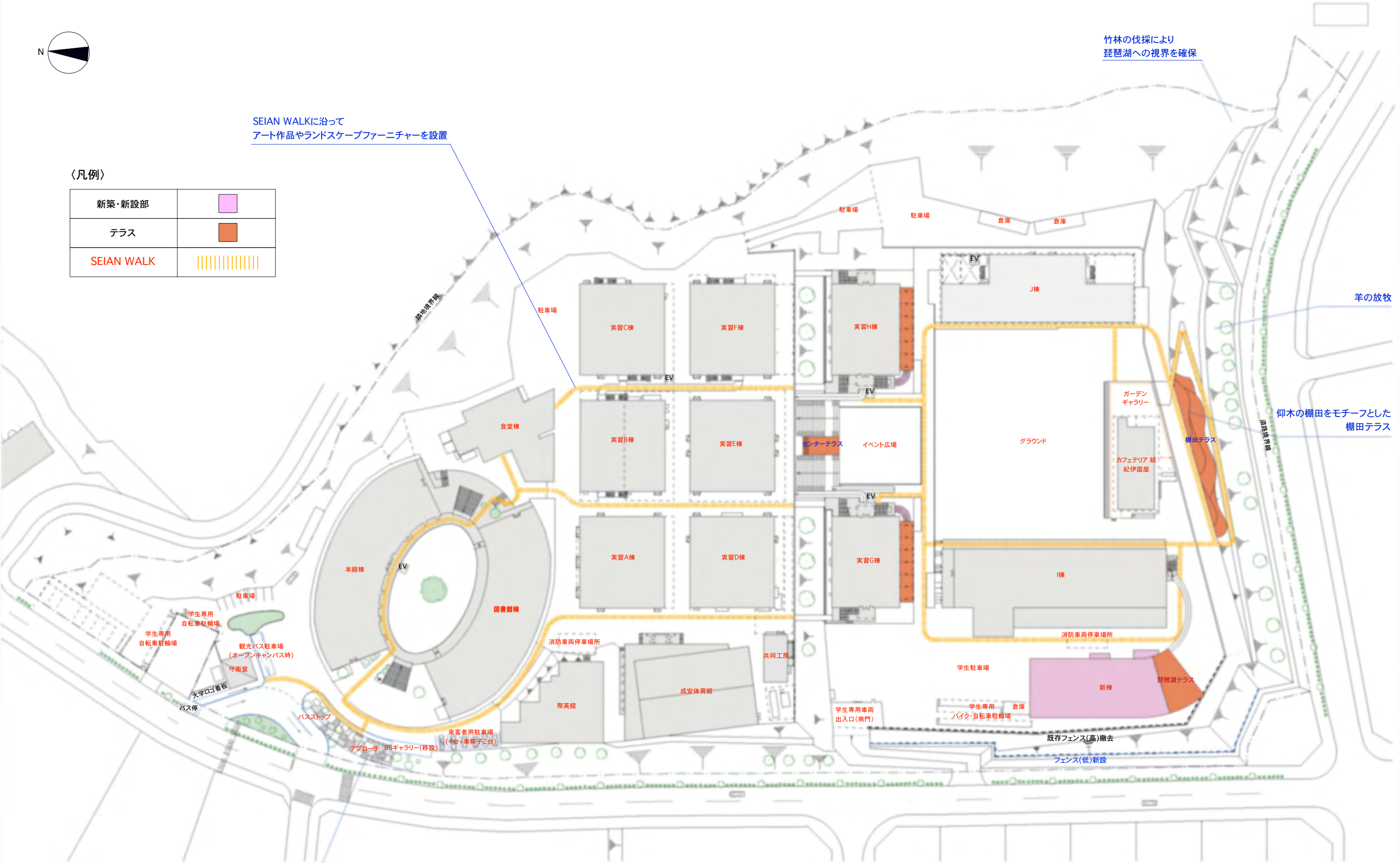
SEIAN WALKに沿って
アート作品やランドスケープファニチャーを設置

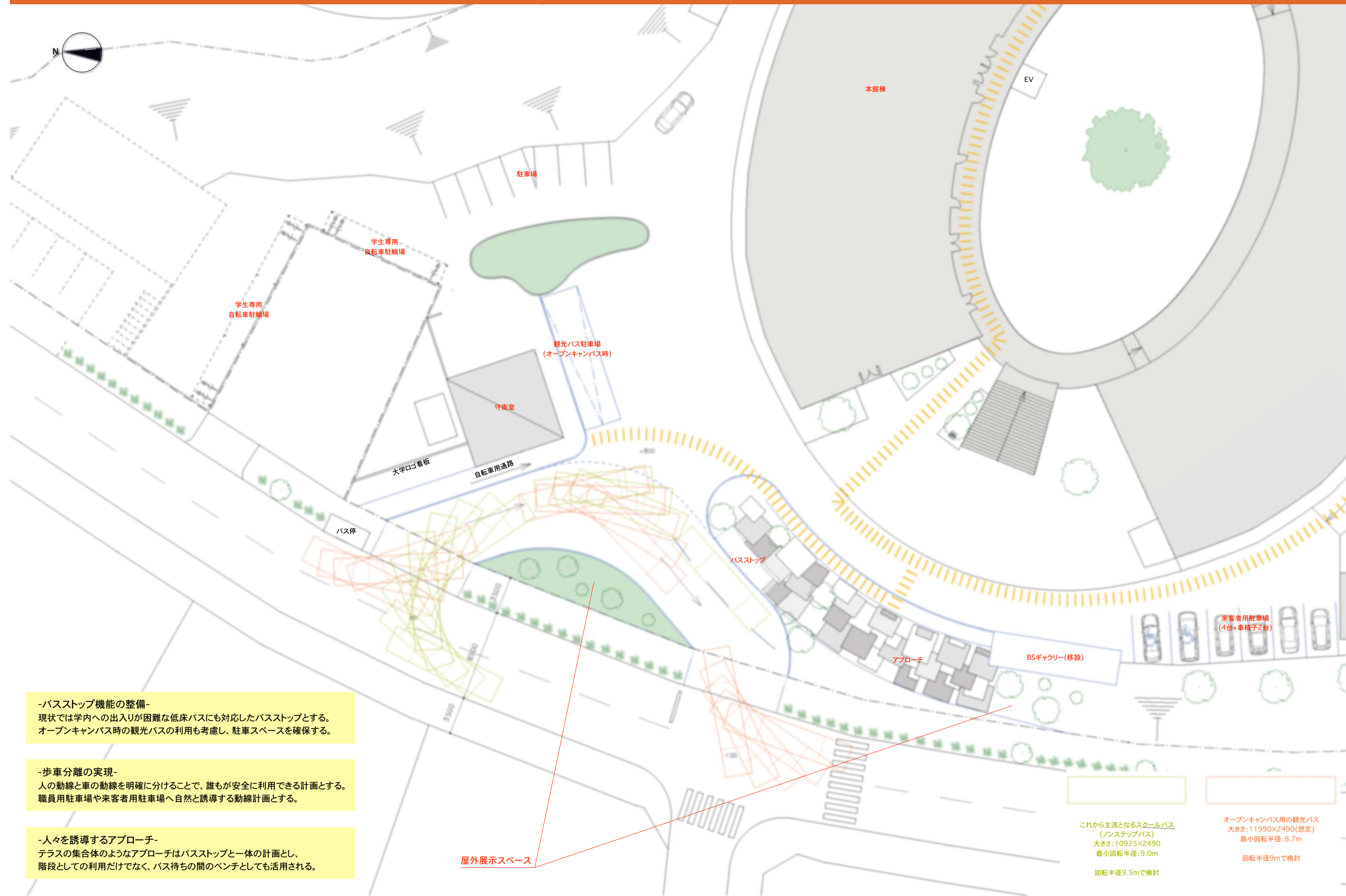
竹林の伐採により
琵琶湖への視界を確保

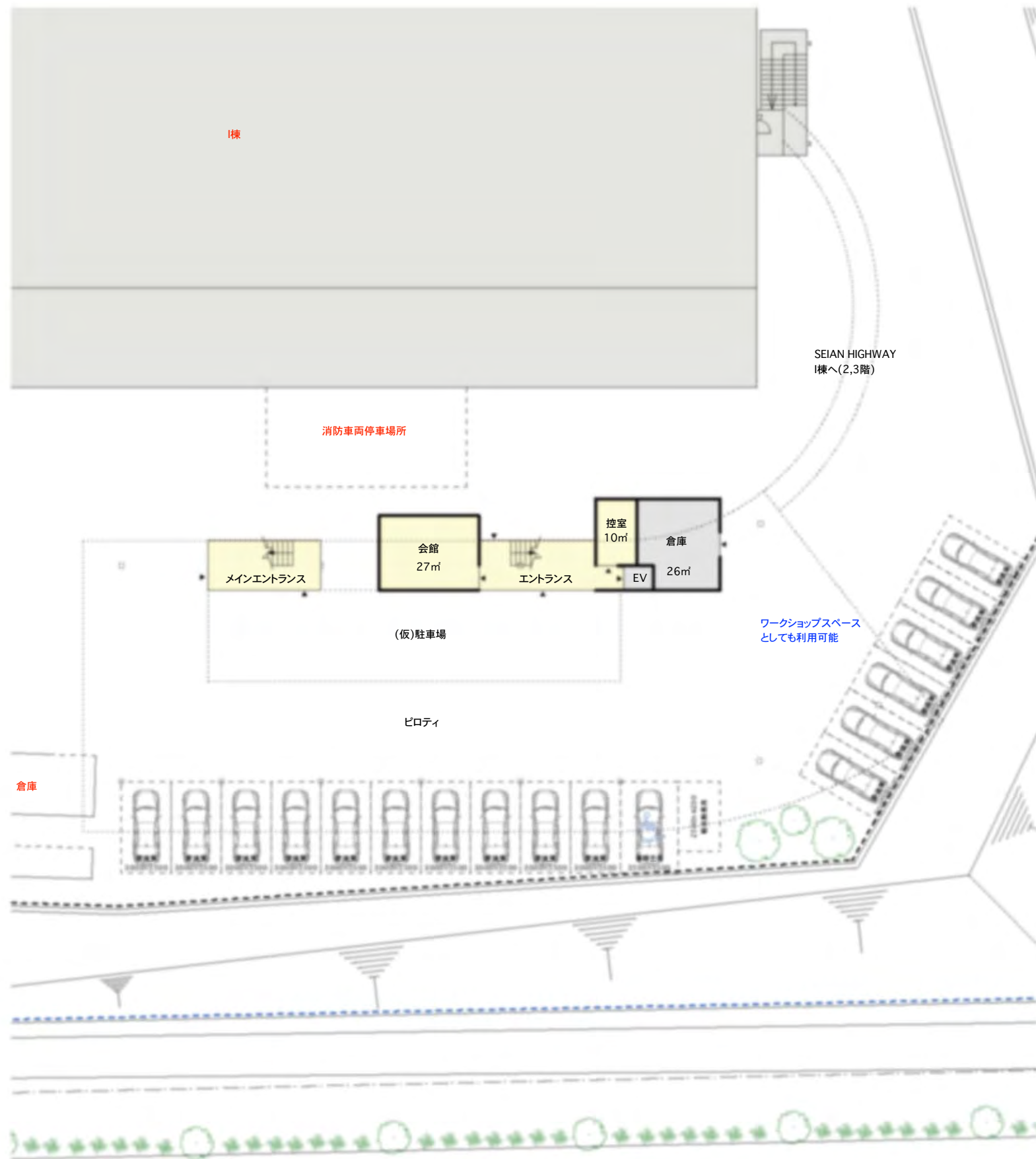
羊の放牧

仰木の棚田をモチーフとした
棚田テラス

歩車分離により
安全な登下校







1階平面図

-豊富な展示空間-

多目的ホールはギャラリーと可動間仕切りで仕切られているため、空間を一体にして卒制展などを開催することができる。また、廊下を含めた2階全体が展示スペースとして機能するため、たくさんの作品を展示できるとともに、通行人にも作品を見てもらえる美術館のような空間となる。

-琵琶湖への眺望計画-

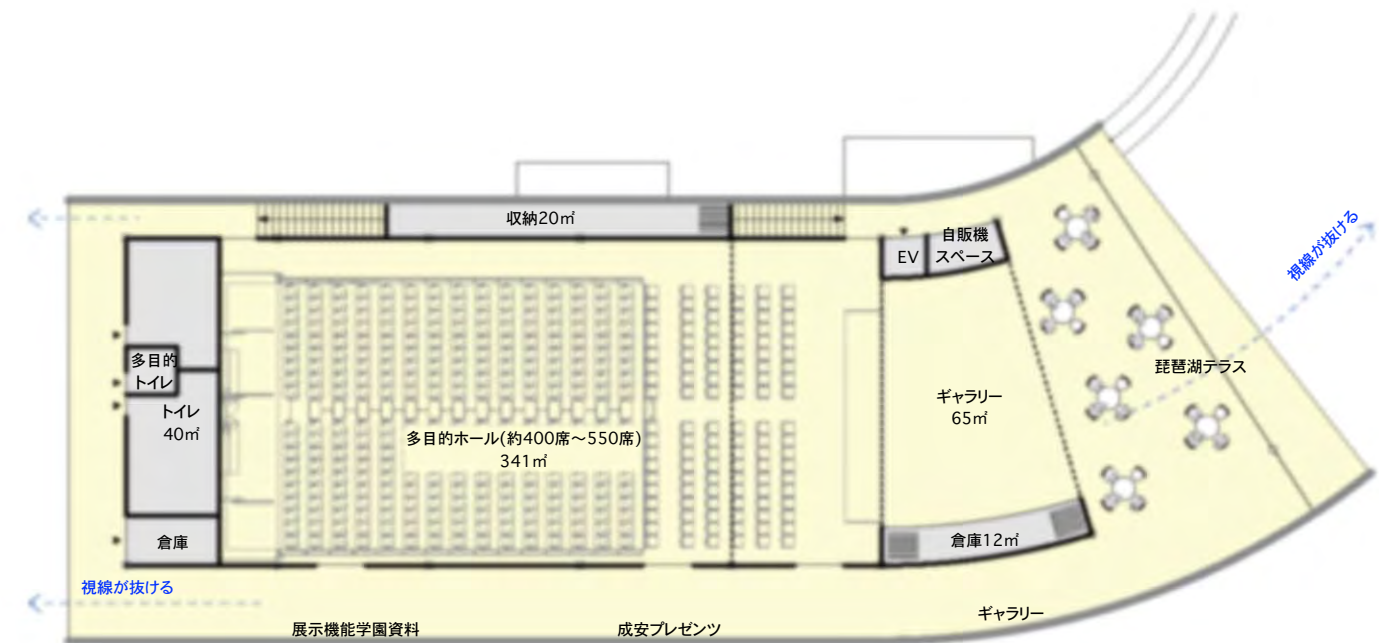
ホールやテラスから琵琶湖を望むことができるようにし、開放的で心地のよい空間を生み出す。また、ホールにテーブルや椅子を配置することで、琵琶湖を眺めながら食事など小休憩ができる場所となり、学内の学生の分散を促すと共に、常に活気あふれる明るい空間となる。

-ピロティ空間-

1階に大きなピロティの空間を設けることにより、建物の圧迫感を軽減するとともに、雨に濡れない駐車場となる。また、日射や雨を遮れることから半屋外のワークショップスペースとしても活用することができる。

-I棟への連絡通路-

テラスから棟へ連絡通路を設けることで、二棟間の移動が容易になるとともに、車椅子利用者がエレベーター設備のないI棟へ移動できるようになる。また、外部空間を学生が通るようになることで、街に対しても賑わいがあふれ出し明るいイメージを与える。



2階平面図



